

農大だより

発行日：令和3年3月1日
 発行：岐阜県農業大学校
 可児市坂戸938
 Tel：0574-62-1226
 Fax：0574-62-1227

◇目次◇

- 各種発表会をオンラインで開催
- 卒業生からのメッセージ ・20歳になって思うこと、感じること ・卒業後の抱負
- 卒業生の進路
- 農大トピックス
 - ・農大祭inとれたっひろば
 - ・資格・検定に合格しました
 - ・農福連携栽培技術基礎講座を開催します

各種発表会をオンラインで開催

本校では「先進農家等派遣学習発表会」、「卒業論文発表会」などの発表機会を積極的に設け、発表を通して学習成果を高め、学生の資質向上を図っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のために、ウェブ会議システムを用いて行いました。

【卒業論文発表会】

1月28・29日、プロジェクト学習を主軸に、知識、技術、経営能力について修得した成果を、2学年生全員が卒業論文に取りまとめ発表しました。1学年は発表会場とは別の会場で視聴し、2学年保護者には、自宅等からオンラインで参加していただきました。発表者は「PowerPoint」と「Zoom」を駆使し、わかりやすく発表しました。

【学習成果発表会】

2月4日、本校の教育成果を発信するため「意見発表」「派遣学習」「卒業論文」からそれぞれ4事例を発表し、関係機関や大学教授、保護者にも視聴いただきました。高校の先生からは、「当校の卒業生が立派に発表し、農大で成長した姿を拝見でき嬉しく思う」と感想をいただきました。

【東海近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会】

1月14日に開催された東海近畿の農業大学校9校の代表者が参加する発表会で、本校からは「私が思い描く未来設計図」と「牛舎内の点灯時間の延長による採食量と泌乳量の変化」を発表しました。

【岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会】

1月23日、県内の農業関係学校が参加する発表会で、本校からは「パブリカのマルチの違いによる品質向上」「食用ほおずきの特性調査と特産化の可能性」「分娩後早期の種付けによる分娩間隔の短縮と子宮回復時期の特定」を発表しました。そのうち分娩間隔の短縮に関する論文は、優秀発表賞を受賞しました。



＜卒論発表する学生＞



＜学習成果発表会でのオンライン講評＞

卒業生からのメッセージ

祝！成人

20歳になって思うこと、感じること

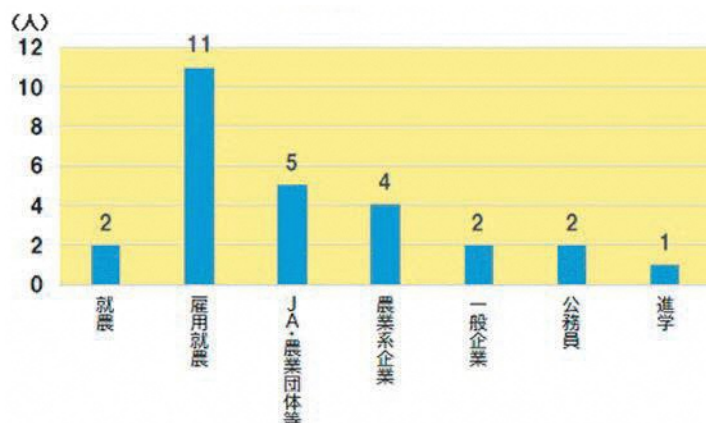
- ・1年があっという間に過ぎていくので、1日を大切に過ごしたい
- ・いよいよ社会人になる自分に不安を感じる もう子供には戻れないさびしさを感じる
- ・20年間培ってきたことがどうなるのか、これからも大事にしたい
- ・今までは学生だったが4月からは社会人 自律して頑張らないといけない
- ・もっと大人だと思っていた
- ・大人になったという実感がないが、自立しなければいけない
- ・親に依存しすぎないように頑張っていきたい
- ・長くも短くも感じる期間だった 良い事も嫌な事もたくさんあった そうした色々な経験によって今の私ができる 20年という期間に華があったかは分からない しかしとても貴重な期間を過ごすことができたと思う
- ・できることが増えた 特に顕著なのはお酒を飲めること 車で遠出したり高校生頃には考えられなかったが、それにより責任も増えることを忘れないよう生活していきたい
- ・一つの区切りとして、心機一転これからはがんばる
- ・自分で決断することが増え、改めて自分自身をもっとよく理解することが大切だと考える
- ・体力がなくなった お金のことばかり気にするようになった
- ・親や他人にあまり依存しなくなった 自分のやりたいように計画し実行するようになった
- ・バイトなどの経験から、社会の理不尽さを知った
- ・お酒に飲まれないようにしたい
- ・20歳になって、色々責任が自分自身になることが多くなったと思う
- ・大人になったのかー
- ・自立しなければいけないという不安
- ・突然の胃もたれ 1日バイトしただけで筋肉痛になる
- ・学生の時間は楽しくてあっという間だった
今年度はコロナで遠出もできなかったが、友達と過ごす学校生活は充実していた
- ・成人式も延期になり実感がないというのが正直なところ
しかし、来年度から社会人なので頑張っていきたい
- ・大人扱いだと感じる 高校生を子供だと思った
- ・思っていたよりお酒を飲まない
- ・年をとったと感じ、また節々の弱さを感じる

卒業生の進路

本年度は、就農する学生が13名で全体の約半数となりました。

また、9名の学生がJAや農業関係企業など、農業に関わる仕事に就きます。

卒業後も様々な場面でお世話になりますが、引き続きご支援をお願いいたします。



卒業後の抱負

【野菜・果樹学科】

- まずは生きる！生きなければ話にならないので、解雇されないように仕事を頑張りたい / 伊東武蔵
- 報告、連絡、相談、確認をしっかりと行う / 今井健翔
- 生活に慣れていきたい 仕事では作業をしっかりと覚えて働くということ学ぶ いろんな厳しいことがあっても投げ出さず、しっかりと自分のやるべきことをこなす / 加藤穂高
- 計画的にお金を貯める 家を建てる 温かい家庭を築く / 小室仁人
- いろんなことに挑戦する / 新井那奈子
- 今のところこれと言って見つかってないが、自分がやりたいと思ったこと、見つけた目標に最後まで折れることなく挑戦したい / 川端悠斗
- 社会人になって最初は学ぶことがたくさんあるので、一つ一つ丁寧に仕事する / 門原萌
- どんな仕事についても楽しみたい!! そのために仕事内容を頑張っておきたい / 小林歩実
- まず継続 人生を楽しむ / 北瀬晴果
- 仕事をしっかりと行い、自分のやりたいことをやっていく / 洞口涼太
- 卒業後は人の話をしっかりと聞き、就農後も農家さんの役に立てようがんばる / 辻大輝
- 卒業後は自覚をもって行動したい 就職先でもしっかりと仕事をこなして、いろいろな人から頼られる人物になりたい / 長谷川巧
- 金を稼いで夢をかなえたい 就職先で人に好かれてカッコイイ大人になって、上からも下からも立てられる人になっていきたい / 日置泰崇



【畜産学科】

- 養豚という仕事は今まで学んでこなかったもので、多くのことを仕事の中で学びたい / 杵江空
- 4月から新しい環境で生活と仕事が始まるので、早く慣れるよう頑張りたい / 臼井千晶
- 雇用就農なので、岐阜県のポーノポークを大切に育てていきたい / 扇本紗弥
- どんな事があっても立ちあがり物事にきちんと向き合い、自分なりの目標を随時見つけていけるようになりたい また目標や試練を乗り越えレベルアップしていく / 大竹一輝
- 就職先で長年働いて、定年まで安定して生活できるよう頑張る / 西岡柊矢
- まともな生活・食事を保つ / 藤田舞
- 卒業後はどんなことでも楽しんで取り組んでいけるような人間になりたい / 吉岡凜
- 普通の生活ができるようにする / 梅田稜
- 高山でいい飛騨牛を生産する 一人暮らしを楽しむ! / 廣木菜月
- 安全・安心・おいしい牛肉作り 儲かる経営 / 山田恵大
- 世帯主として頑張ってお金を稼ぐ / 福田翔梧
- 無事故無違反で通勤したい / 土本明里
- 卒業後は飛騨牛に関わる仕事に就くので、今後の飛騨牛を支えられる人になりたい / 柚村諒
- 自分に投資する(自分磨き) いろんな農家さんと仲良くなる(顔を広げる) 牛にもっと詳しくなる / 渡邊麗奈



農大トピックス

農大祭inとれたっひろば

11月29日、可児市にあるJA直売所「とれたっひろば可児店」で農大祭を開催しました。農大で生産した野菜や果物の販売が行われ、学生自治会の役員9名が店頭に立ち販促活動を行いました。



＜農大祭 販売の様子＞

例年、農大祭は農大キャンパス内において、学生が主体となり地域住民の皆さんにも参加いただき開催してきましたが、今年度はコロナウイルス感染症対策のため、多くのお客が集まるイベントは中止とし、店頭販売での開催となりました。

準備した野菜は、お昼過ぎには完売し、好評のうちに終わりました。



＜学生がデザインした農大祭のポスター＞

資格・検定に合格しました

本年度、下記の資格・検定等に合格した学生を紹介します。おめでとうございます。

- ★毒物劇物取扱者・・・ 大竹 一輝、青山 実乃梨、中井 義仁、堀 碩隼
- ★日本農業技術検定2級・・・ 中井 義仁、堀 碩隼、宮田 結衣、山田 泰輝

R3年度農福連携栽培技術基礎講座を開催します

農業の基礎を学ぶ「農福連携栽培技術基礎講座」は、岐阜県内の福祉関係事業所の職員の方を対象に開催し、R3年度で3年目を迎えます。

農業に取り組みたい、農作業を受託したいと考えている福祉関係の希望者がお見えになりましたらご紹介ください。

興味のある方は、本校教務課までお問い合わせください。

校長のひとこと ～DXって?～

今、持続的開発目標SDGsと並んでDXなるヨコモジが注目されています。DXと言えばデラックスで車などのグレード標記を思う方も（実はお手軽装備が多い）。ではなくて、デジタルトランスフォーメーションのことでXはトランス～の略記だそう。デジタル庁なる国の組織も創設され、デジタル革新なしで組織は生きていけない時代。私たちの暮らしてもスマホで済ませられるコトが増えました。農業でも進むAI活用や自動化が、学生にとって良い教育環境につながればと思います。一方でデジタル化によりハンコ行政が見直され、一抹の寂しさが・・・最後に一句「デジタル化 推進書類に ハンコつく」。

編集後記

本年度卒業する27名の皆さん、卒業おめでとうございます。コロナ渦で大変な状況であっても、あきらめず取り組んできた皆さんの努力は、今後の糧になっていきます。これからの活躍に期待しています。